

令和元年台風第 19 号被災地支援にむけた

ボランティア活動 支援金



ご協力をお願い

～ みんなの えがおがみたいから ～

令和元年台風第 19 号で被災した方々を支援するため、
みえ災害ボランティア支援センターを設置しました。
そこで、ボランティア活動を支援するために必要な資金のご協力をお願いします。

募集目標金額 700万円

企業からの支援金 350 万円

個人からの支援金 350 万円

支援金の活用状況や支出については、活動報告書、ホームページ等で報告させていただきます

募集させていただく支援金の使い方

- 被災地の状況を把握し関係者と連携するための先遣隊の活動費
- 現地でのボランティア活動に参加しやすくするためのボランティアバスの運行費
- 現地のニーズに応じたボランティア活動を行うための活動費
- 上記の活動を行うために必要な事務局運営費 等

支援金受付 ※銀行振込、またはご持参ください

【募金方法】

《銀行振込》 百五銀行（0155）津駅前支店（502） 普通 909113
口座名 みえ災害ボランティア支援センター

《ご持参の場合》

津市羽所町700 アスト津3階 みえ県民交流センター内
みえ災害ボランティア支援センター
(事務局：三重県ダイバーシティ社会推進課 NPO 班)

募集期間

2020 年
2月28日まで

みえ災害ボランティア支援センター

514-0009 三重県津市羽所町 700 アスト津3階 みえ県民交流センター内

電話：070-4088-0099 (平日9:00~17:00)

e-mail: mvsc.jimukyoku@gmail.com

HP <https://mvsc.jp> facebook ページ <https://www.facebook.com/mvsc0311> |



みえ災害ボランティア支援センター

■みえ災害ボランティア支援センターの基本理念

地震や水害などで被災した方が、あたり前の生活を送れるようになるためにボランティア・NPO 団体や三重県で活躍する企業、大学・学校、行政等が協働して三重県民による多様なボランティア活動を盛りあげていきます

■ ■みえ災害ボランティア支援センターが大切にしている5つの基本原則

みえ災害ボランティア支援センターは5つの基本原則に従って活動します。

1. 被災した場所や状況によることなく、また、年齢、性の自認、国籍等を問わず全てのひとを支援し、地域社会や文化、自然を大切にします
2. 常に被災者、被災地主体の考え方に立ち、被災者や被災地が自立した復興を果たせるような支援活動を行います
3. 三重県民や県内の企業、大学や学校、ボランティア・NPO 団体等が取り組むボランティア活動を、信条や活動方針、団体の成り立ちを問わず支援します
4. ボランティア活動が被災者・被災地にとって最大限の効果を発揮できるよう、その活動の主体となる団体・個人と共に努力し続けます
5. センターに関わる団体や個人がお互いの行動倫理を尊重し、被災者の自立を支援するという基本理念を共有して、協働で事業を実施します

■ ■ ■令和元年台風第19号被災地支援にむけた4つのアクションプラン

みえ災害ボランティア支援センターは令和元年台風第19号被災地支援のために、4つのアクションを起こします。

1. 被災地の情報収集、キーパーソンとの関係構築のため先遣隊を派遣します
2. 現地のニーズと、それに対応できる三重県内の支援活動・団体をマッチングします
3. 特に多くのニーズが発生する片付けボランティアを被災地にたくさん送り届けるため、ボランティアバスを運行します。
4. 三重から被災地を支援する団体同士の連携を充実させ、支援団体を増やします

みえ災害ボランティア支援センターとは…

災害発生時に設置され、以下の幹事団体と有志のボランティアにより官民協働で運営されます。

- 特定非営利活動法人 みえ防災市民会議
- 特定非営利活動法人 みえNPO ネットワークセンター
- 三重県ボランティア連絡協議会
- 公益社団法人 日本青年会議所東海地区三重ブロック協議会
- 日本赤十字社 三重県支部
- 社会福祉法人 三重県社会福祉協議会
- 三重県
 - 防災対策部 防災企画・地域支援課
 - 子ども・福祉部 地域福祉課
 - 環境生活部 ダイバーシティ社会推進課